

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年10月19日

1. ロックダウン中の14～18才の人々のアルコール、マリファナ、タバコ使用の変化
2. [衆院選2021政策比較 \(SaveMedSaveLives -医療を守ろうプロジェクト\)](#)

【松崎雑感】

1. スペインからの報告です。ロックダウン中、低学力の若者の依存性薬物の使用率が明らかに増えたという事です。アルコール、マリファナ、そしてタバコ使用を防ぐには、低学力をもたらす主要な原因である経済格差を減らす取り組みこそが根本的に必要と思います
2. 衆議院選挙が始まりました。コロナ対策、医療対策について各政党の主張のまとめをSaveMedSaveLivesさんが作ってくれました。じっくりご確認ください。ツイッターは右をクリック: [SaveMedSaveLives -医療を守ろうプロジェクト- #赤字の病院を救ってさん \(@SMedSLives\) / Twitter](#) 与党がいろいろ公約を出していますが、良い政策ならば、政権をとっていたのだから、なぜやらなかったのかと怒ってしまいます。選挙目当てと勘繰りたくなります。

ロックダウン中の14～18才の人々のアルコール、マリファナ、タバコ使用の変化

Rogés J. et al. **Consumption of Alcohol, Cannabis, and Tobacco in a Cohort of Adolescents before and during COVID-19 Confinement.** *Int J Environ Res Public Health.* 2021 Jul 24;18(15):7849. doi: 10.3390/ijerph18157849. PMID: 34360141.

昨年のコロナロックダウン中のカタロニア地方の14～18才の人々におけるアルコール、マリファナ、タバコの使用状況の変化を調査した。

使用の変化に関連する個人および社会的特質も調査した。

対象は14～18才の303名（4年制の中学校、2年制の大学予科的高校、職業訓練課程）。

ロックダウン前（2019年10月～2020年2月）とロックダウンから2か月後にデータを収集した。

ロックダウン後、すべてのグループで、望ましくない薬物使用は著明に減少した。

しかし職業訓練課程の人々は他のコースの人々より有意に大量飲酒(4時間に6杯以上: RR = 3.21 (95%CI: 1.00–10.34))、危険な飲酒(頻繁な大量飲酒など: RR = 3.75 (95%CI: 1.12–12.54))、危険なマリファナ使用(大麻嗜癖スコア7点以上: RR = 3.75 (95%CI: 0.65–21.59))、毎日喫煙(RR = 4.82 (95%CI: 1.74–13.39))を行う者が多かった。

衆院選2021 医療政策・コロナ対策比較 ver.7

#衆院選2021政策比較

		与党		野党					
		自民	公明	立憲民主	共産	社民	れいわ	国民民主	維新
医療政策	医療機関支援		診療報酬上の特例措置の延長	減収分と負担増分を事前包括払い	すべての医療機関に減収補填財政支援	医療費削減政策の転換	減収補填	緊急包括支援交付金増額 経営支援 診療報酬改善	コロナ患者受入れで収入減少した医療機関に支援金
	医療従事者支援	看護・介護職の収入増 (公的価格見直し)		特別就労支援金 慰労金	待遇の抜本的改善	待遇改善を急ぐ	危険手当 2万4千円/日	支援強化	見舞金
	病床削減推進 賛成or反対	賛成	賛成	反対	反対	反対	反対	賛成	賛成
コロナ対策	補償	給付金 (非正規、子育て世帯、 事業規模に応じて)	10万円給付 (0歳～高3)	10万円給付 (低所得・減収)	10万円給付 (困窮・減収) 持続化給付金 家賃支援給付金	損失補償 10万円給付 (生活困窮者)	粗利補償 20万円給付 (全員、毎月)	減収補填 10万円給付 (低所得者は20万円)	持続化給付金 家賃支援給付金 損失補填
	ロックダウン							ロックダウン法制化	ロックダウン法制化
	検査体制	予約不要の無料検査拡大	無料検査検査体制強化	無料検査積極的疫学調査の強化	大規模検査の推進	PCR検査の充実	検査体制拡充 PCR検査 最大100万回/日	無料自宅検査	検査体制強化
財源			剰余金 国債発行	国債発行 (補正予算 30兆円規模)	国債発行 大企業・富裕層の 応能負担	大企業・富裕層への課税強化	国債発行 (インフレ目標3~5%)	国債発行	議会改革 行政改革

※代表的な政策を記載しています。詳しくは各党のウェブサイトをご参照ください。

SaveMedSaveLives-医療を守ろうプロジェクト-